

総合教育部案内

令和 2（2020）年度入学者用

本冊子は、令和 2 年度「文系後期一括，理系後期一括」入試による入学者が，学類に移行するまでの間に所属する総合教育部の案内です。

『共通教育科目 履修案内』，各学域・学類が発行している履修案内・手引き・ハンドブック等と併せて活用してください。

金沢大学 国際基幹教育院 総合教育部

School of General Education, Institute of Liberal Arts and Science,
Kanazawa University

ごあいさつ

ご入学おめでとうございます。

皆さんは、金沢大学に一昨年度から導入された文系または理系の後期一括入試に合格し総合教育部第3期生として入学されました。この入試を導入した目的は、様々な分野にまたがって強い興味と関心を持ち、幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意があり、かつ、積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人を受け入れるためです。

Diversityという言葉があります。マイノリティーや女性の積極的な採用、差別のない処遇を実現するために広がった言葉です。最近では、多様な働き方を受容する考え方として使われています。免疫学では、何千何万という抗原に対する抗体産生のメカニズムを説明する原理の中で diversity という言葉が使用されています。一生は、何千何万という選択肢の中から、一つを選んで生きて行くと言えるでしょう。多様性を認めながら、一人一人の個性に合った生き方を選んで行くことが重要だと思います。もちろん選択権は皆さんが持っています。

皆さんは、国際基幹教育院総合教育部に所属し、一年の間に進路を決めなければなりません。大学での講義のみならず、様々な機会を捉えて、自分自身の人生の在り方を見つめてください。体験し、考え、悩みながら、他人とは違う、世界に一つだけの自らの人生を切り開いてください。

総合教育部では、担任やアカデミック・アドバイザーのみならず、全教員が皆さんをバックアップする体制を整えています。まず、担任やアカデミック・アドバイザーと親しくなってください。大学教員として、人生の先輩として、皆さんの大学生活を有意義なものとするお手伝いを致します。

この小冊子が、皆さんの大学生活に役立つことを期待しています。

令和2年4月

理事（総括・大学改革・附属病院担当）・副学長
国際基幹教育院長・総合教育部長
大 竹 茂 樹
sohtake@staff.kanazawa-u.ac.jp

I 履修，単位認定について

1 共通教育科目

1年次には、「共通教育科目」を中心に履修します。

導入科目は、入学者ができるだけ早く大学のあり方に慣れ、大学生らしい学修態度、生活態度を身につけて、将来を見据えながら充実した大学生活をおくれることを目的としています。また、各学類についての紹介など、進路選択に向けた説明も目的としています。

導入科目は、「大学・社会生活論」、「初学者ゼミⅠ」、「データサイエンス基礎」、「地域概論」(各1単位)の4科目で、すべての学類で必修です。総合教育部学生対象の授業が開講されていますので、履修してください。

保健学類へ移行した学生の「データサイエンス基礎」は、移行後に「情報処理基礎」に読み替えられます。

なお、**専門教育科目の時間割によっては、2年次以降での修得が困難となる場合がありますので、1年次に必ず履修してください。**

GS科目は、世界で活躍する「金沢大学ブランド」人材育成のために設けられた本学独自の教育方針である「金沢大学<グローバル>スタンダード (Kanazawa University “Global” Standard ; 以下「KUGS」)」に基づいた授業科目です。

KUGSは、①自己の立ち位置を知る、②自己を知り、自己を鍛える、③考え・価値観を表現する、④世界とつながる、⑤未来の課題に取り組む、の5項目からなっています。この5項目で示された具体的な能力を獲得するために、1群から5群までの科目群が設定されています。それぞれの群に6つのGS科目が配置されていて、各群から3科目以上選択して履修すれば、目標とする5つの学修成果を達成できるように設計されています。

なお、GS科目の3A「プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)」(1単位)はすべての学類で必修です。

GS言語科目は、共通教育の言語科目のうち、全学類で必修となっている科目です。「GS言語科目(英語)」と留学生を対象とした「GS言語科目(日本語)」があります。

「GS言語科目(英語)」は、「TOEIC準備コース」(4単位)、「EAPコース」(4単位)が、すべての学類で必修です。

「GS言語科目(日本語)」については、『共通教育科目履修案内』で確認してください。

共通教育では、GS言語科目以外にも言語科目が開講されています。**初習言語科目**は、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、ギリシア語・ラテン語、スペイン語が開講されており、すべての学生が履修できます。人間社会学域では、学校教育学類

を除き、1言語8単位が必修となっています。

基礎科目は、数学、物理学、化学、地学の分野に属する科目で、理系の学生を対象にしています。理系では、「微分積分学ⅠA」、「微分積分学ⅠB」、「線形代数学ⅠA」、「線形代数学ⅠB」、「物理学ⅠA」、「物理学ⅠB」、「化学ⅠA」、「化学ⅠB」の8科目を含む10科目が、移行点対象科目（p.11参照）ですので、必ず履修してください。

学類移行後の履修に配慮し、「統計数学A」、「統計数学B」、「物理学実験」、「化学実験」、「地学ⅠA」、「地学ⅠB」は、CAP制（各学期又は各クォーターの履修上限）除外科目としています。十分な学修時間を確保できるように履修科目を決定してください。

なお、基礎科目は、移行する学類によって単位修得要件が異なります。『共通教育科目履修案内』に基礎科目について詳細が記載してありますので、確認してください。移行希望学類の必修科目は、1年次に履修することを勧めます。

保健学類へ移行した学生の基礎科目は、A及びBをセットで単位修得した場合、移行後に保健学類の基礎科目に読み替えられます。（例：「微分積分学ⅠA」（1単位）及び「微分積分学ⅠB」（1単位）をセットで単位修得した場合、保健学類の基礎科目「微分積分学第一」（2単位）に読み替えられます。）

自由履修科目は、GS科目、基礎科目及び初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）を指します。

創薬科学類への移行を希望する場合は、「ひとのからだ1」、「ひとのからだ2」、「ひとのからだ3」、「ひとのからだ4」を履修してください。

2 専門教育科目の履修

総合教育部では、基本的に専門教育科目は各学類に移行した後で履修することになります。専門教育科目の履修の有無が学類移行に影響することはありません。

ただし、学類によっては1年次に修得が望ましい専門教育科目があります。（次頁の表を参照）

なお、人間社会学域及び理工学域における1年次に履修が可能な専門教育科目は次頁の表のとおりです。

医学類及び保健学類の専門教育科目は、1年次には履修できません。ただし、医学類においては、一部の専門教育科目を移行前学修として、1年次の春季休業期間に開講しますので、追って案内します。専門教育科目の履修については、学類移行後に個別に対応します。

1年次に修得が望ましい専門教育科目

| | | |
|--------|---|--------------------------------------|
| 人間社会学域 | 共通 | 学域 GS 科目（1年次後期から配当，詳細は下表を参照） |
| | 人文学類 | 人文学序説 A・B・C・D |
| | | 博物館概論（学芸員資格を取得する場合のみ） |
| | 法学類 | 法学概論，政治学 A・B，民事法入門 A・B，憲法（人権） A・B |
| | 経済学類 | 経済学入門，経営学入門 |
| | 学校教育学類 | 教師論，国語基礎，社会科基礎，算数科基礎，理科専門研究，家政教育専門研究 |
| | 地域創造学類 | 地域創造学 I～IV |
| 国際学類 | 国際学入門，国際学入門 E，日本文化，日本文化 E，異文化理解 1，異文化理解 2 | |
| 理工学域 | 数物科学類 | 数学物理学演習 A，数学物理学演習 B |
| | 物質化学類 | 物理化学基礎，有機化学基礎，情報処理演習 |
| | 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 | 微分方程式及び演習，先端テクノロジー概論 |
| | 生命理工学類 | 生命理工学概論 A，生命理工学概論 B |
| 医薬保健学域 | 創薬科学類 | 医薬保健学基礎 II（合同講義 4 回） ※1 |

※1 創薬科学類の医薬保健学基礎 II（合同講義）の聴講を希望する場合は，基幹教育学務係又は薬学学務係（自然科学本館 G 2 階）にお問い合わせください。

1年次に履修が可能な専門教育科目

| | |
|--------|--|
| 人間社会学域 | 学域 GS 科目のうち 1 年次配当の 11 科目（大学・学問論，ジェンダーと教育，異文化理解 1，異文化理解 2，文学概論 1，文学概論 2，世界遺産学，法政基礎論 A，法政基礎論 B，イメージの比較文化学，防災学入門），その他各学類専門基礎科目及び専門科目のうち『学域学類からの案内』に記載の「1 年次履修可能な専門教育科目」 ※2 注）科目詳細は各学類ハンドブック等にて確認ください。 |
| 理工学域 | 1 年次配当の科目 ※2 |

※2 1 年次に履修が可能な専門教育科目は，各学類の授業時間割表を参考にしてください。国際基幹教育院 Web サイトで専門教育科目の授業時間割表を閲覧できます。国際基幹教育院 Web サイト＞新入生・在学生の方へ＞総合教育部＞学域・学類の情報
<https://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/students/>

3 履修上限 (CAP 制)

各クォーターに履修登録できる科目の上限単位数は、12 単位です。

ただし、次の科目は、履修登録の上限には算入しません。

- (1) 集中講義として開講する授業科目
- (2) いしかわシティカレッジにおいて開講する授業科目
- (3) 放送大学において開講する授業科目
- (4) 基礎科目 (統計数学A, 統計数学B, 物理学実験, 化学実験, 地学 I A, 地学 I B)。ただし、総合教育部 (理系) に所属する者が履修する場合に限る。

また、履修登録許可単位数の上限は、前学期の GPA が 2.7 以上の場合に撤廃されます。

4 外部試験による成績評価・単位認定制度

1 年次の GS 言語科目 (英語) は、一定のスコア等の基準を満たせば、「S」で成績評価を受けることができます。また、初習言語科目及び単位を修得できなかった場合の GS 言語科目 (英語) は、外部試験のスコア等により単位認定を受けることができます。(詳細は『共通教育科目 履修案内』を参照してください。)

ただし、GS 言語科目は、6 科目が移行点対象科目 (p.10, p.11 参照) となっているため、必ず 6 科目は履修してください。

5 入学前の既修得単位認定

本学入学前に大学等で修得した単位を、本学の単位として認定することができます。認定できる単位数の上限は、共通教育科目と専門教育科目を併せて 60 単位です。

共通教育科目については入学当初に国際基幹教育院長あてに、専門教育科目については、学類移行後に所属学域長あてに申請してください。

なお、この制度における評価は「認定」となり、認定された授業科目は移行点対象科目に含まれません。所定の移行点対象科目 (p.10, p.11 参照) については必ず履修してください。

6 金沢大学における国際化への取組と英語学修

社会のグローバル化が急速に進むなか、さまざまな場でグローバルに活躍できる人材の育成が、急務となっています。世界各国でこうした高度人材の育成が戦略的に進められる今、日本の大学においても、グローバルリーダー育成のための体制強化が求められています。

こうした背景から、金沢大学では、「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマに各種取組を進めています。

本学では学生の皆さんへの英語学修の継続的強化を目的とし、1年次におけるGS言語科目（「TOEIC 準備」と「EAP」）の開設や、専門課程における学域GS言語科目の開設、海外留学をはじめとした海外体験活動の支援等を実施しています。

こうした取組の一環として、皆さんには、原則として在学中に英語外部検定試験を複数回受験するように求めています。

総合教育部学生は、入学後、すぐに、大学が実施するTOEIC-IPテストを受けます。1年次第1クォーターから第4クォーターまでGS言語科目における「TOEIC 準備」においてTOEICテストに必要な英語能力向上をはかり、1年次第4クォーターにおいて、2回目のTOEIC-IPテストを受けます。

なお、金沢大学では英語学修のためのe-learning講座、受験対策講座、個別相談による学修支援等皆さんの継続的な英語学修に向けたサポートを実施していますので是非ご利用ください。

7 教育職員免許状の取得

(1) 取得可能な免許状の種類

本学で取得できる教育職員免許状は、次表のとおりです。

移行先の学類で取得可能となる免許状の種類（人間社会学域）

| 学域 | 学類・コース | 中学校教諭一種 | 高等学校教諭一種 | その他 |
|--------|--|--------------------------------------|--|---|
| 人間社会学域 | 人文学類 | 国語, 社会, 英語 | 国語, 地理歴史, 公民, 英語, 中国語 | |
| | 法学類 | | 公民 | |
| | 経済学類 | 社会 | 公民 | |
| | 学校教育学類 ※特別支援学校教諭一種免許状は、特別支援教育専修のみ取得可能 (小一種免許, および中一種免許1教科または特支免許を保証する) | 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 英語 | 国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 英語 | 幼稚園教諭一種, 小学校教諭一種, ※特別支援学校教諭一種(聴覚障害者, 知的障害者, 肢体不自由者) |
| | 国際学類 | 国語, 社会, 英語 | 国語, 地理歴史, 公民, 英語 | |

注) 人間社会学域地域創造学類については、教育職員免許状を取得できません。

移行先の学類で取得可能となる免許状の種類（理工学域）

| 学域 | 学類・コース | | 中学校教諭一種 | 高等学校教諭一種 | その他 |
|-----------|-----------|-----------|---------|----------|-----|
| 理工学域 | 数物科学類 | | 数学，理科 | 数学，理科，情報 | |
| | 物質化学類 | 化学コース | 理科 | 理科 | |
| | | 応用化学コース | 理科 | 理科，工業 | |
| | 機械工学類 | | | 工業 | |
| | フロンティア工学類 | | | 工業 | |
| | 電子情報通信学類 | | | 工業 | |
| | 地球社会基盤学類 | 地球惑星科学コース | 理科 | 理科 | |
| | | 土木防災コース | | 工業 | |
| | | 環境都市コース | | | |
| | 生命理工学類 | 生命システムコース | 理科 | 理科 | |
| 海洋生物資源コース | | | | | |

(2) 免許状取得に必要な科目

教育職員免許状を取得するには、①共通教育科目として開講される「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」及び原則として②各学域・学類で開講される「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「大学が独自に設定する科目」の単位を修得しなければなりません。

(3) 1年次に履修可能な科目

①共通教育科目

共通教育科目で、所属や免許種別等に関係なく修得しなければならないものは、「日本国憲法概説2単位」、「保健体育関連科目から2単位」、「外国語コミュニケーション関連科目から2単位」、「データサイエンス基礎1単位」「情報の科学1単位」の計8単位です。授業科目の詳細は、『共通教育科目 履修案内』を参照してください。

②各学域・学類で開講される科目

「教師論」は、教員免許状の種類に関わらず必須です（高一種（工業）については、「教科に関する専門的事項」に定める科目の修得した単位で代替できます。）。1年次後期に、文系は2科目（学校教育学類対象「教師論（a）」とそれ以外の学類対象「教師論（b）」）、理系は1科目（理工学域対象「教師論」）が、それぞれ開講されます。

文系の学生は、学校教育学類以外の学類を対象とする「教師論（b）」を履修してください。ただし、時間割上履修が困難な場合には、学校教育学類を対象とする「教師論（a）」を履修することも可能です。

なお、「教師論」は卒業単位には含まれませんが、学校教育学類に移行した場合には、卒業単位に読み替えられます。

総合教育部学生が履修する「教師論」

| 総合教育部 | 授業科目名 | 時間割番号 | 開講期 | 対象学生 |
|-------|--------|-------|------|----------------------------|
| 文系 | 教師論（b） | 95000 | 1年後期 | 人間社会学域（学校教育学類を除く。） 学生対象 |
| 理系 | 教師論 | 90101 | 1年後期 | 理工学域学生対象 |

(4) その他

①学校教育学類希望者を除く文系の学生で、教育職員免許状の取得を希望する場合には、人間社会学域で開催される教職ガイダンス（1年次前期開催予定）に出席してください。免許状取得に係る詳細は、ガイダンスで配布される『教職ハンドブック』を熟読して確認してください。また、学校教育学類を希望する学生は、人間社会系事務部学生課教務係（人間社会第2講義棟1階）に確認してください。

②理系の学生で教育職員免許状の取得を希望する場合は、『理工学域履修案内』で詳細を確認してください。不明点は各学類の教職担当教員や理工系事務部学生課教務係（自然科学本館G2階）に確認してください。

『理工学域履修案内』

<https://www2.adm.kanazawa-u.ac.jp/south2/gakusei/oshirase/risyuuannnai/b2020.pdf>

③医薬保健学域保健学類（看護学専攻）では、保健師免許を有する者が、養護教諭二種免許状を都道府県教育委員会に申請する場合は、教育職員免許法及び同施行規則に定められた単位（「7(3)①共通教育科目」で記載の単位）を修得しておかなければなりません。

Ⅲ 支援体制について

1 進路・学類選択支援

後期一括入試で入学した学生は1年次に総合教育部に所属し、2年次に各学類（保健学類は専攻）に移行します。

総合教育部では、アカデミック・アドバイザーという専門の教員が学生の進路・学類選択をサポートします。また、各学類の担当教員と面談する機会もあります。

アカデミック・アドバイザーは、面談等を通して学生の興味・能力が最大限に活かせる学類・進路に進めるよう様々なサポートを行います。進路に悩む時には、アカデミック・アドバイザーから進路選択のための各学類の情報や説明を受けたり、一人ひとりに沿った履修計画を立てられるよう履修支援を受けたりすることができます。

アカデミック・アドバイザーは、主として総合教育部学生のアドバイジング・ルーム1・2（総合教育1号館2階204・205号室）においてアドバイジングを行います。また、教員室に在室している場合もありますので、気軽に教員室を訪ねてください。

また、アドバイジング・ルーム2（総合教育1号館2階205号室）には各学類の履修案内・手引き・ハンドブック等が備えてあります。

文系担当アカデミック・アドバイザー 井上 咲希

所 属：国際基幹教育院高等教育開発・支援系

教員室：総合教育1号館4階409号室

理系担当アカデミック・アドバイザー 中野 正俊

所 属：高大接続コア・センター

教員室：総合教育1号館4階411号室

※オフィス・アワーは別途お知らせします。

2 学生生活に関する相談

総合教育部では、入学後に、文系後期一括入試による入学者を3クラスに、理系後期一括入試による入学者を4クラスに編成します。各クラスに担任教員を配置し、学修上や生活上の相談にあたります。

令和2年度の総合教育部担任教員は、22ページに掲載しています。

また、国際基幹教育院の全教員が一丸となって総合教育部学生を支援します。

3 学修支援

国際基幹教育院には、補習教育担当の専任教員がいます。高校で習っていない科目や苦手な科目の復習などのために、「数学」・「物理」・「化学」のリメディアル教育を授業時間割に組み込んでいます。

さらに、普段の学修で困ったことがあれば、図書館で学修支援を受けることができます。図書館には「ラーニング・サポートデスク」があり、学生一人ひとりの学修面での疑問や悩みに応え、「レポート、論文の書き方」、「プレゼンテーションの方法」、「講義の受け方、ノートのとり方」、「テキストの読み方」、「資料や文献の探し方」など、教員がアドバイスやサポートを行っています。また、ラーニング・アドバイザー(LA)と呼ばれる学生サポーターがいて、大学での学びに必要な基本的なアカデミックスキル（レポート、プレゼンテーション資料作成など）から、基礎科目（数学・物理・化学・地学）、英語学修など多岐にわたりサポートします。

その他、留学生ラーニング・コンシェルジュ(LeCIS)と呼ばれる留学生支援を行っている大学院生と外国語での会話を練習することもできます。図書館では留学生ラーニング・コンシェルジュが企画する様々なイベントなども開催しています。

各種のイベントは、アカンサスポータルを通じてお知らせします。

4 ランチョンセミナー

昼休みに食事をとりながら誰でも気軽に参加できるセミナーです。

主に1年次学生を対象としており、大学生活へスムーズに移行できるように、「大学での学び、学習支援リソース紹介」、「レポート書き方入門」、「Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint)の使い方入門」、「就活生になって後悔しないための夏休みの過ごし方」など、学習や学生生活に関わる事柄に関するセミナーを用意しています。

各種のセミナーは、アカンサスポータルを通じてお知らせします。

IV 学生生活について

1 学生への連絡

大学が学生に対して行う連絡等（公示、呼び出し、授業時間割、履修上の指示、休講、補講、奨学金授業料免除関係等）は、原則として掲示、アカンサスポータルにより行います。

これらの通知を見なかったために不利益を受けても救済できませんので、掲示板やアカンサスポータルからの連絡を見落とさないようにしてください。掲示板は、A4講義室前に設置しています。

また、国際基幹教育院総合教育部 Web ページにも、専門教育科目の時間割などの情報が掲載されていますので、確認してください。

2 住所・姓名等の変更

本人及び父母等の現住所、電話番号は緊急連絡時に必要となりますので、変更があった場合は、速やかにアカンサスポータルから変更を届けてください。

また、本人の姓名に変更があった場合は、速やかに基幹教育学務係に届けてください。

なお、父母等の姓名に変更があった場合は、アカンサスポータルから変更を届けてください。

3 休学・復学

病気や経済的な理由等により、1か月以上修学を中止する必要がある場合には、休学することができます。その場合には、必ず、担任教員に相談してください。

休学の期間は、休学の開始日からその年次の各クォーター、各学期又は学年の終わりまでです。ただし、総合教育部において、2年間を超えて休学することはできません。休学期間が終了した場合には、終了の翌日から復学となります。ただし、初めに届け出た休学期間中に復学する場合には、復学の届け出が必要となります。復学時にも担任教員と面談を行います。

なお、休学した場合には、2年次の4月に学類移行はできません。

4 退学

退学をしようとする場合は、必ず、担任教員に相談したうえで、基幹教育学務係で用紙を受け取ってください。

5 留学

留学する場合には、在学の身分のまま渡航することも、休学して渡航することも可能です。ただし、在学したまま留学した場合は、学類への移行時期は2年次の4月となります。留学時に、休学するかどうかについては、担任教員等とよく相談して決めてください。

6 転学類

学類移行後の転学類は、各学域・学類で定めています。詳細は、各学類担当の学務係又は教務係で確認してください。

7 事故などの報告

万一、学内外を問わず交通事故等の事故又は事件に遭ったときは、必ず担任教員又は基幹教育学務係に速やかに詳細を届け出てください。

総合教育棟 平面図

(総合教育2号館・体育館へは、3階に上がって渡廊下で)

2 階

履修関係掲示板
授業日程
講義室変更
休講・補講
試験
履修登録等

基幹教育学務係

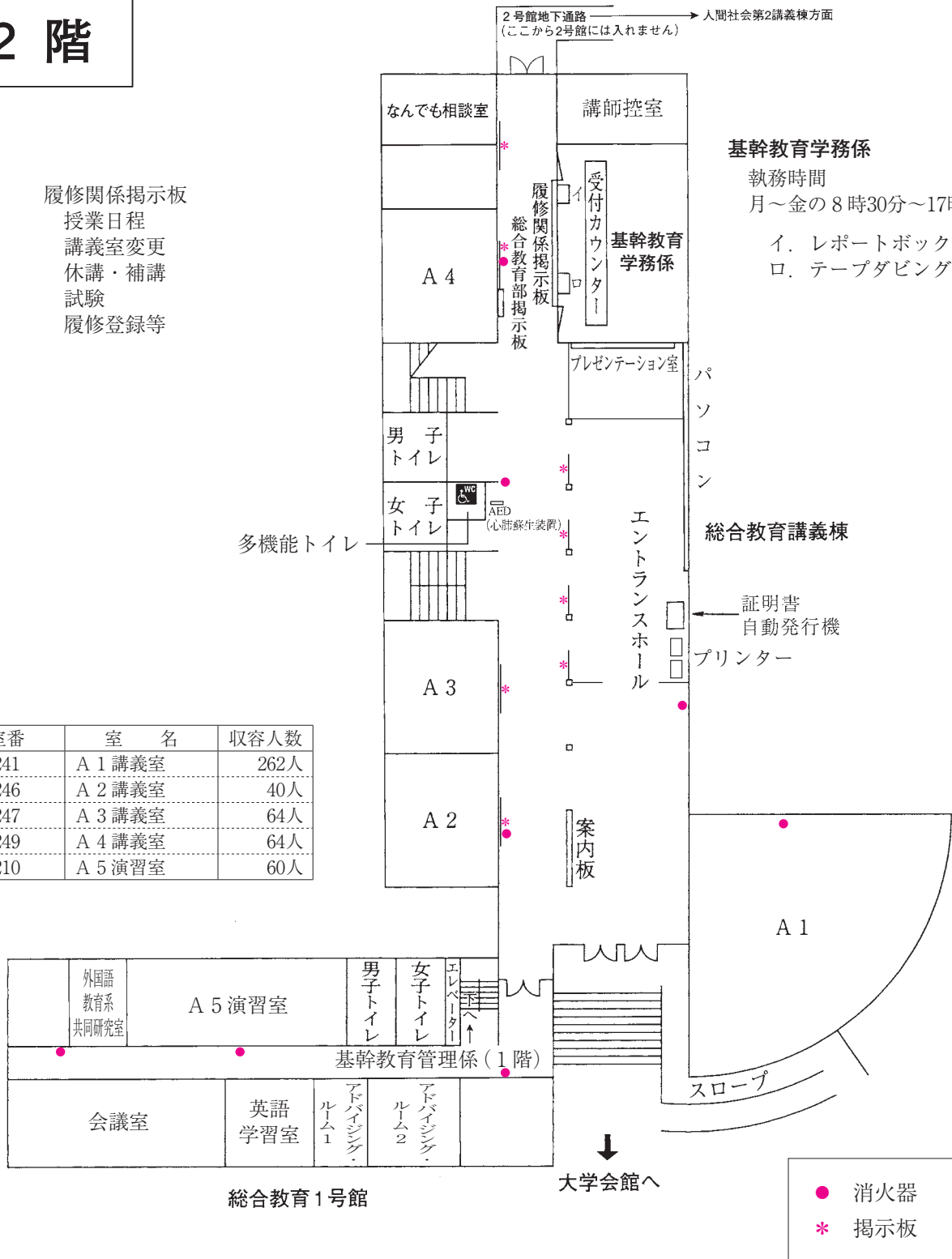
執務時間

月～金の8時30分～17時

イ. レポートボックス

ロ. テープダビング機

| 室番 | 室名 | 収容人数 |
|-----|---------|------|
| 241 | A 1 講義室 | 262人 |
| 246 | A 2 講義室 | 40人 |
| 247 | A 3 講義室 | 64人 |
| 249 | A 4 講義室 | 64人 |
| 210 | A 5 演習室 | 60人 |



※ A 4 講義室は授業に使用しない場合は、学生自習室として利用できます。